



白内障(はくないしょう)について⑰(最終回)

では、前回号に引き続き「日本白内障屈折矯正手術学会 (JSCRS)」のホームページ

<http://www.jscrs.org/>に掲載されている白内障についての解説文を引用して行きます。長らく続いて参りました「白内障」に関しての藤田眼科からの解説も、今回を持ちまして最終回となります。自分は今年眼科医として 20 年目を迎えますが、その長い経験の中で「白内障」という病気に対してどう向き合っていくか？ どう対処していくか？ という問題を考える行為は、眼科医としての最大の責務と言っても過言ではないように思います。もちろん、白内障以外の疾患についての知識、対応も当然必須ですし、場合によっては内科的な知識、一般外科に関する知識も大切だと思いますが…やはり患者さんからの訴えの数、携わる患者さんの数の多さを考えると、現代の眼科医にとって「白内障」が最も重要な疾患であるという事実はどんな眼科医にとっても変えられないと思うのです。そんな思いを噛みしめながらの「白内障シリーズ最終回」。ゆっくりとご覧頂けたらと思います。

@@

Q: 眼内レンズには寿命がありますか？

人体(眼内)という安定した環境にある場合には、眼内レンズの寿命は人間よりもはるかに長いと考えられます。

眼内レンズが発明されたのは 1940 年代でその後さまざまな改良が行われ、現在では小さな傷で済む折りたたみ式のアクリル製もしくはシリコン製のものが主流となっています。正式に認可された眼内レンズであれば、その耐久性に関する試験を通過し、眼内に入れても視力に影響するような劣化は起こらないことが確認されていますので心配いりません。但し、保険診療ではなく自費診療の手術の場合には使用する眼内レンズが国内未認可の場合があり、その際にはレンズの耐久性や安全性について主治医からよく説明を受けるようにしてください。

その他、よくある質問

Q: 眼を擦ったら眼内レンズがずれませんか？

眼内レンズはコンタクトレンズとは違い、眼の中に入れますので、よっぽどの強い外傷を受けない限り、外からの力で動いたりずれたりすることはありません。

Q: 緑内障がありますが、手術は受けられるでしょうか？

緑内障の有無と、白内障手術の可否は、基本的には関係がないので、大丈夫です。また、ある種の緑内障では白内障手術をすることで、病気の進行や発作のリスクを下げる事が出来ます。

Q: 糖尿病を患っていますが、手術は出来るでしょうか？

糖尿病のコントロールが不良の時は、術後の感染リスクが高まるので、内科での治療をしっかりとコントロールされてから手術を受けられることをお勧めします。

血糖のコントロールが良くされている方ならその限りではありません。

@@
以上を持ちまして引用文の掲載は終了です。最後に、藤田からの補足説明を続けたいと思います。

①白内障の手術を受けるに際して、見え方≠人工レンズの度数の左右バランスはとても重要です。片目だけの白内障が進行してしまった場合(逆の目はよく見えているままという事)、片目だけ視力が下がっている場合など「片目だけ手術を受ければ済む」と思われる場合でも、状況によっては「片目だけの手術でなく両目同時期の手術」をお勧めする場合があります。目は 2 個ありその二つが連動して物を見ている為、片目だけの白内障手術を行って術後に左右のバランスが崩れるような状況になる可能性が高い場合には、同時期に両目の白内障手術を受けるようお勧めする場合があります。基本原則は片目ずつの手術という事になるのですが、特殊な状況としてそういう場合もあるという事は知っておいて頂いた方が良いでしょう。白内障の手術では「埋め込む人工レンズの度数」によって、近くが見えやすいか？ 遠くが見えやすいか？ など…距離によっての見え方が異なってしまいます。簡単にいえば、その左右の関係性は保つ方が良いでしょう。しかし、「近くが見えるようにするか？ 遠くが見えるようにするか？」の判断は簡単ではなく、時として患者さんが迷ってしまう場合もあります。もしも迷ってしまった場合には「若い時の見え方に近い状況」を選ぶと安全です。本人にとっては昔からいつも馴染んだ見え方になるため、術後に違和感を感じる可能性は低くなります。

誌面の都合にて今回のフジタガンカニュースはここまでです。

最終回で書き切れなかった藤田の補足説明の続きは次号をお楽しみに！

今月のお知らせ

令和元年の今年は秋(10/22(火))にも即位礼正殿の儀に際しての祭日がありますが、当院はこの日は休診とさせていただきます。また、10/18(金)午後は第10小学校の就学時健診、10/25(金)午後と10/26(土)は院長が臨床眼科学会出席の為休診となります。



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
P-Vision

① **042**
(645)
0575
① **042**
(642)
2911